

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和4年度分「一部、令和5年度分を含む」)

## 目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	14
学校施設の概要	15
在籍生徒調	16
卒業生の動向調（特別支援学校用）	17
生徒の状況	18
預金調	20
郵券等受払調	20
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	21
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	22
委託料に関する調	23
負担金支出調	25
建築工事調	27
公有財産調	29
行政財産貸付・使用許可調	30
主要備品調	31
職員調	32
職員の年齢調	34
健康管理	35

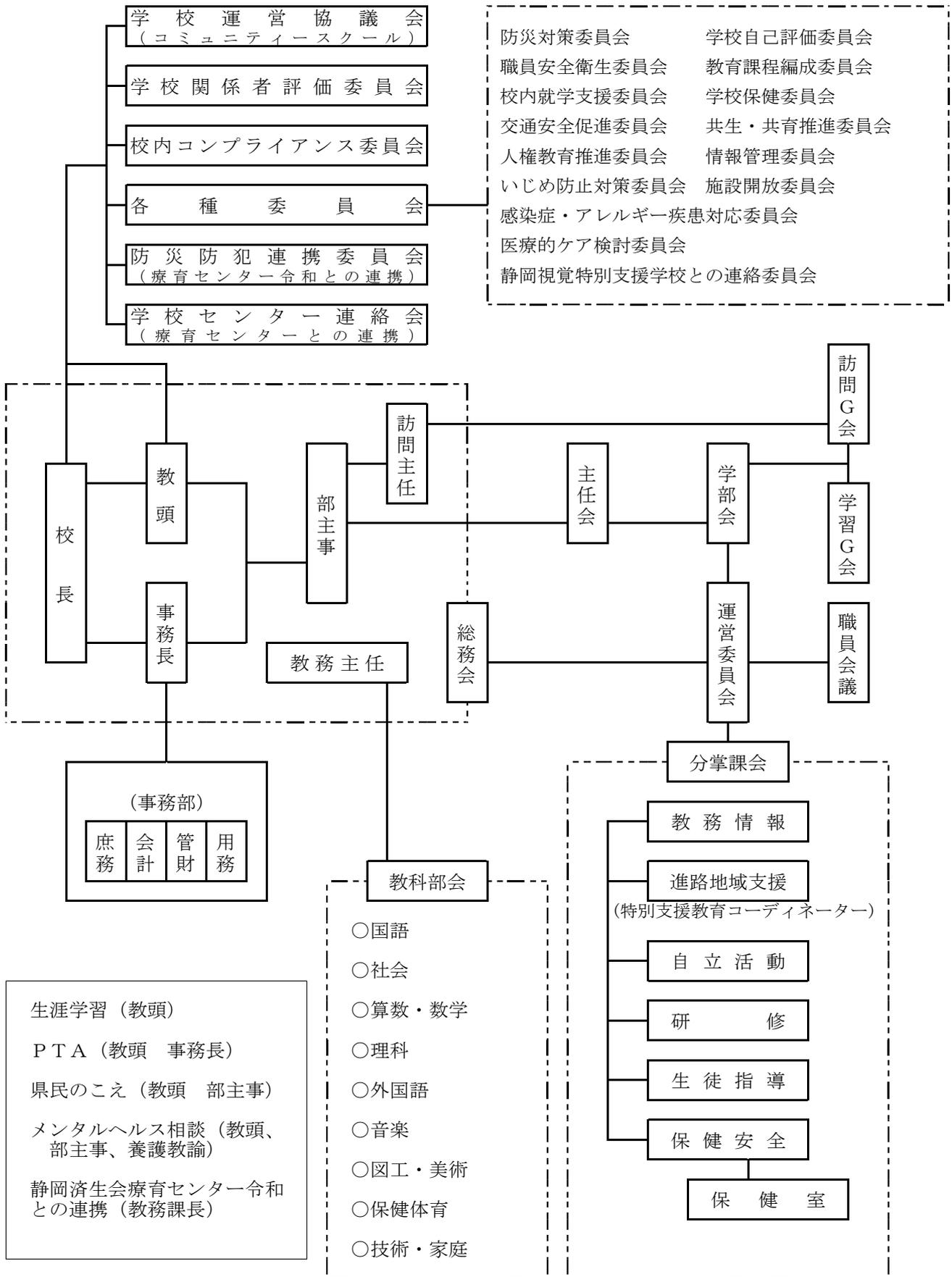
## 事務事業の概要

### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

昭和28年 4月 1日	静岡療護園（現静岡済生会療育センター令和）開設とともに、静岡市立西豊田小学校・同豊田中学校の特殊学級が施設内に置かれ教育を開始
昭和33年 4月 1日	静岡県立養護学校設立 静岡療護園の一部を仮校舎として発足
昭和34年 5月 3日	静岡市小鹿1丁目1-24に校舎第一期工事完成（北校舎）
昭和35年 6月30日	校舎第二期工事完成（南校舎）
昭和39年 4月 1日	校名を静岡県立静岡養護学校に変更する。
昭和49年 4月 1日	校名を静岡県立中央養護学校に変更する。
昭和50年 4月 1日	静岡市漆山777に新校舎が完成する。 新校舎を静岡県立中央養護学校麻機校舎と呼称し通学する児童生徒を対象とする。 旧校舎を静岡県立中央養護学校小鹿校舎と呼称し静岡療護園による医療・訓練を必要とする児童生徒を対象とする。
昭和55年 4月 1日	小鹿校舎が独立し静岡県立静岡南部養護学校が設立される。 （小学部及び中学部）
昭和55年 4月 7日	開校式を挙げる。
昭和56年 4月 1日	訪問教育担当校となる。 （志太地区・島田市民病院・いこいの家）
昭和58年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。 （志太榛原地区・島田市民病院・つくしの家・やまばと学園）
昭和59年10月18日	静岡市曲金5丁目3-30福祉エリア内に新校舎建築工事着工
昭和60年12月14日	新校舎建築工事竣工
昭和60年12月24日	小鹿校舎から新校舎に移転する。
昭和61年 1月 8日	新校舎使いはじめの式を挙げる。
昭和61年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。（静岡市・島田市民病院）
昭和61年 6月14日	新校舎落成・創立七周年記念式典を挙げる。
平成 2年 6月16日	創立十周年記念式典を挙げる。
平成14年 4月 1日	静岡県立こころの医療センターの訪問教育開始
平成16年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。（静岡市）
平成20年 4月 1日	校名を静岡県立静岡南部特別支援学校に変更する。
平成21年 4月 1日	静岡県立こころの医療センターの訪問教育が、中央特別支援学校に移管
平成23年 3月23日	創立30周年記念コンサートを開催する。
令和 2年11月 7日	創立40周年記念式典を挙げる。

(2) 組織図



## 2 目指す学校像

### (1)教育目標 「自ら学び 生活を高める 心豊かな子」

自ら学ぶ子：学ぶ喜びを感じながら主体的に学び、考え、行動する子

生活を高める子：自分や仲間を大切にし、互いを認め合い、共に生きる子

心豊かな子：健康で豊かな感性をもち、表現する子

### (2)目標具現化の柱

#### 【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校

ア 生活年齢、学びの積み重ねを大切にした系統性のある教育課程の編成

イ 的確な実態把握に基づき「何ができるようになるか」を目指した授業実践

ウ 教職員が主体的に語り合って取り組む授業改善や業務改善の推進

#### 【守り認め合う（安全・安心）】

命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかに活動できる学校

エ 清潔で衛生的な安心して学べる学習環境づくりの推進

オ 学校安全、防災、防犯体制見直し、共通理解、教職員の主体性強化

カ 児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いを認め合い、大切にする教育の充実

#### 【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

キ 地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実

ク 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進

ケ 静岡視覚特別支援学校との連携・協力による効果的な教育活動の模索、検討

## 3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

### (1)令和4年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果（・）と課題（○）
ア	生活年齢を大切に した小中学部のつ ながりのある教育 課程の編成	小中のつながり や教科間のつな がりを意識しな がら指導できた 教員 80%以上	縦のつながり (過去と未来) AB91%  横のつながり (教科間) AB96%	B	・本校には小規模校の良さである日常的な学部間のつながりがある。今後もこの強みを活かしていきたい。 ○校外学習について9年間を見通して系統的に目標と目的地がわかる一覧表の作成が必要。
		年間指導計画を 活用できた教員 90%以上  行事の目的を明 確にし、理解し た上で指導に当 たった教員 80%以上	AB100%  AB96%	A	・年間4回教務課からの声掛けで年間指導計画を見直す機会があった。 ・教科間のつながりを意識する良い機会になった。 ・手元に年間指導計画を置き、授業に取り組むことができた。 ○中学部では学年と学習グループの動きがある。教員間の連絡調整のための時間が必要。

イ	よさを伸ばし、自分で考え行動する姿を導き出す授業の実践	児童生徒の実態に合った授業づくりができたと答える教員80%以上	教員評価 AB100% 保護者評価 AB100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通のアセスメントツールを活用したことにより、教員同士が語り合いながら実態把握をすることができた。</li> <li>個に応じた目標設定をすることができた。目標設定の根拠ができた。</li> </ul> <p>○実態によっては実態把握の方法に更なる工夫が必要。</p>
		ICT 機器を授業等で活用できた教員80%以上	AB100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べ学習や遠隔地とのコミュニケーションに有効だった。</li> <li>気持ちを伝えるコミュニケーションツールとして日常的に活用できた。</li> <li>疑似体験ができた。</li> </ul>
		自立活動研修やリハビリ見学等を参考に、授業を充実させることができた教員80%以上	AB83%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリ見学で学んだことを指導に活かすことができた。</li> <li>日常的にセラピストに相談できる環境にあり、学びが多い。</li> </ul> <p>○医療と教育それぞれの役割を果たし、今後もより一層の連携が必要。</p>
		地域資源、外部人材のスキルを活用した授業を実践した教員80%以上	AB78%	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動水族館は、経験の少ない児童生徒にとって、心に残る有意義な学習だった。</li> <li>なんぶっことボッチャは地域の人に学校を知ってもらえる良い機会。来年は実施したい。</li> </ul> <p>○地域とつながりたいが、感染を考えるとつながりにくい状況。工夫の必要がある。</p>
ウ	教職員が主体的に取り組む業務改善や意識改革の推進	全職員が時間外勤務月45時間以内、年360時間以内	月45時間超過6%職員 年360時間超過職員ゼロ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初、月45時間超過職員が数人いたため業務内容の再確認を行い、意識改革を行った。</li> </ul> <p>○今後も業務精選と働き方に関する意識改革の必要がある。</p>
エ	清潔で安心して学べる学習環境づくりの推進	日常的に環境整備に努め、校内が清潔で整理されていたと感じる教員90%以上	AB100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日2回の校内消毒、教材教具は共有せずその都度消毒を行った。常に安全な学習環境は保持できた。</li> <li>わからないことは学校医に相談し、迅速に対応できた。</li> </ul>

		不良個所の迅速な修繕、備品の現物確認年1回、廃棄物の処理年2回	できた	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良個所の修繕は迅速に行うことができた。</li> <li>・備品の現物確認を年1回行い、不要物品は他校へ譲渡したり廃棄物処理をしたりできた。</li> </ul>
オ	学校安全、防災・防犯体制の強化	<p>マニュアルに対する理解が深まり、緊急時に適した行動がとれた職員90%以上</p> <p>日常的に感染対策を講じながら指導に当たることができた教員90%以上</p>	<p>AB96%</p> <p>AB96%</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急初動体制の見直しを行った。体内体制の整理や迅速な対応を徹底した。命を守る対応を全職員で共通理解できた。</li> <li>○実際の場面で適切な行動がとれるよう、次年度は訓練に力を入れる必要がある。</li> <li>・校内で感染レベルに応じ、教育活動をどのように進めるか一覧表にしたことで、両学部同じ判断基準で指導に当たることができた。指導方法を工夫し、学びを止めない努力をした。</li> </ul>
カ	<b>児童生徒・教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い大切にする教育の充実</b>	<p>1回目と3回目の自己評価点数を比べ、点数が高くなった教員80%以上</p> <p>対人関係や人権に関する内容の児童生徒アンケートを通していじめ、差別ゼロ</p>	<p>高くなった 100%</p> <p>友だちや先生から嫌なことをされていない児童生徒100%</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回の人権自己評価実施。教員が自分の指導を振り返るきっかけとなり、人権意識を保持、向上させることができた。</li> <li>・人権ディスカッションでは、学習グループで人権に関する共通の目標を立て、日常的に人権を意識しながら関わることができた。</li> <li>・児童生徒同士の間関係について常に目を配り、早期発見に努めた。</li> <li>・セクハラ等について職員研修で話題にした。</li> </ul>
		<p>職員一人一人を認め合う職員集団と回答する教職員80%以上</p>	<p>AB96%</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が名前を呼び合える人数で、業種にかかわらず日常的に会話がある関係が良い。</li> <li>・人間関係で悩んだ職員には迅速に対応できた。</li> </ul>

キ	保護者や地域、関係機関との連携・協力による教育活動の充実	地域とのつながりができたと感じる教員 80%以上	AB96%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況により実施できなかったが、地域と学校をつなぐ「なんぶつことボッチャ」を企画できた。</li> <li>・学校運営協議会で助言を受け、地域とつながるための新たな地域資源を得ることができた。</li> <li>○今後、学校が地域に貢献できることは何か考えていく必要がある。</li> <li>・苗植え、芋ほり、移動水族館など校内で体験学習ができ、学びが深まった。</li> <li>・児童生徒に関わる関係機関と連携することができた。</li> <li>○近隣小中学校へのアプローチはできなかった。</li> </ul>
		近隣の小中学校、教育施設等への広報誌の作成と配布	学校ホームページで相談支援について掲載（センター的機能）		
		保護者や地域にとってわかりやすい記事を作った教員 80%以上 隣接施設職員の学校参観率の向上	AB100%		
	保護者や関係機関、リハビリ担当などと情報共有できた教員 80%以上	AB100%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内支援体制を整え、校内だけで解決しないで関係機関にも相談するようにしている。</li> </ul>	
ク	共に学び・共に育つ交流及び共同学習の推進	交流事後アンケートで有意義な交流ができたと回答した本校教員と交流校教員共に 80%以上	有意義だったと回答 80%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況に伴い、予定通りの交流ができなかった。(小学部1人実施、中学部4人実施)</li> <li>○交流校との事前打ち合わせに時間を要する。双方の児童生徒の実態に応じた学習内容を設定することが重要。</li> </ul>

(2) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生活年齢、学びの積み重ねを大切にされた系統性のある教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統性のある小中校外学習一覧の作成</li> <li>・学部内で年間指導計画の見直し（年4回）</li> <li>・学部を超えて、教育課程グループ主任による年間指導計画の相互確認（学期末）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活年齢、発達段階を踏まえ指導している</li> <li>・学びの連続性を意識し、学年や学部を超えて系統的に学習計画を立てている</li> <li>・日常的に年間指導計画を活用している</li> </ul>	教務情報課

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画様式一部改訂（指導段階を表記）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に基づき、目標設定や学習評価をしている</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の姿を見据えた進路指導の充実</li> <li>・職員間での進路情報共有</li> <li>・進路に関する職員研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像をイメージし、進路指導を行っている</li> <li>・保護者にとってわかりやすい進路指導や参考になる進路情報を伝えている</li> </ul>	進路地域支援課
イ	的確な実態把握に基づき「何ができるようになるか」を目指した授業実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通のアセスメントツールの活用</li> <li>・将来像や現在の実態に応じた目標設定</li> <li>・チームで指導目標や支援方法の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「何ができるようになるか」(将来像)をイメージし、授業づくりをしている</li> <li>・チームで児童生徒の実態や目標を共通理解している</li> <li>・児童生徒や保護者が願う将来像に応じた授業を実践している</li> </ul>	研修課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に応じた適切な教材教具の精選</li> <li>・姿勢作りのポイント紹介</li> <li>・代替コミュニケーションツール等の紹介</li> <li>・ICTを活用した授業推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを支える教材教具及び補助具（姿勢保持補助、代替コミュニケーションツール等）を指導に活かしている</li> <li>・ICT機器を授業で活用し、主体的な学びを促している</li> </ul>	自立活動課 教務情報課
ウ	教職員が主体的に語り合っており取り組む授業改善や業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元カードの作成と授業反省の確実な実施</li> <li>・日常的に教師間で授業について語り合う習慣の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部を超えて授業について語り合っている</li> </ul>	研修課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで業務改善について語り合う場の設定</li> <li>・マイ定時退庁日、一人一言メッセージの実施</li> <li>・学部、学習グループでマイ定時退勤日促進と評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで業務改善について語り合い、できることを見つけている</li> <li>・全教職員が時間外勤務月45時間以内、年360時間以内で勤務している</li> <li>・マイ定時退勤日を設定し、実行している</li> </ul>	総務会

【守り認め合う（安全・安心）】

命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかに活動できる学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	清潔で衛生的な安心して学べる学習環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接施設とこまめに情報交換を行い、臨機応変な感染対策実施</li> <li>・校内安全点検実施（月1回）し、迅速に対応</li> <li>・学期末の校内清掃実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に状況に応じた感染対策をしている</li> <li>・危険箇所等を見つけた際、そのままにせず、迅速に改善している</li> <li>・児童生徒や保護者が安心できる学習環境を整備している</li> </ul>	保健安全課

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な校内巡視による施設管理</li> <li>・教員と連携し、迅速で計画的な物品整備</li> <li>・静岡視覚特別支援学校事務との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設に不良個所が生じた際、迅速に修繕している</li> <li>・物品の在庫状況を常に確認し、計画的に整備している</li> <li>・ICTを活用し、静岡視覚特別支援学校と情報共有している</li> </ul>	事務
オ	<b>学校安全、防災、防犯体制見直し、共通理解、教職員の主体性強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不測の事態に備えた緊急時対応訓練実施</li> <li>・静岡視覚特別支援学校と連携し、マニュアル改訂</li> <li>・静岡視覚特別支援学校と合同の防災訓練実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の自分の役割を理解し、場に応じた判断ができています</li> <li>・隣接施設や静岡視覚特別支援学校と連携し、安全対策がとれている</li> </ul>	保健安全課
カ	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いを認め合い、大切に教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学部人権教育実施（年間2回）</li> <li>・スクールカウンセラーと連携し、悩みのある児童生徒や保護者に迅速な対応</li> <li>・人権チェック（年3回）</li> <li>・人権ディスカッション（年3回）</li> <li>・職員人権研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が対人関係や人権等に関する悩みゼロで学校生活を過ごしている</li> <li>・教職員が高い人権意識をもって児童生徒や同僚に接している</li> </ul>	生徒指導課

【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
キ	<b>地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域施設での作品展示</li> <li>・学校だより、行事案内を地域に配布</li> <li>・学校運営協議会で地域資源の開拓とつながり強化</li> <li>・体験的学習の推進と充実</li> <li>・日常的に隣接施設と情報共有</li> <li>・リハビリ見学実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材や資源を活用している</li> <li>・学校のことを知る人が増え、つながりが広がっている</li> <li>・リハビリ見学が日々の授業に活かされている</li> <li>・学校が地域に貢献できることは何かを模索し、実践できている</li> </ul>	進路地域支援課 教務情報課 自立活動課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携強化</li> <li>・面談や学部だより等で学習の目標や内容を保護者に説明</li> <li>・保護者を巻き込んだ学校行事実施（NANBU スポフェス、なんぶつことボッチャ、NANBU ムービーフェス）</li> <li>・訪問教育では、スクーリングやリモート学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が学習の様子がよくわかると評価している</li> <li>・より多くの保護者が学校行事に参加している</li> <li>・訪問教育保護者がスクーリングやリモート学習により人との関わりが広がると評価している</li> </ul>	教務情報課 保健体育科 進路地域支援課 生徒指導課

ク	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態に応じた交流内容の精選</li> <li>・ICT機器の活用</li> <li>・交流校との綿密な事前打ち合わせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方法や内容を工夫し、交流教育を持続している</li> <li>・双方に成果の残る学校間交流を実施している</li> </ul>	進路地域支援課
ケ	静岡視覚特別支援学校との連携・協力による効果的な教育活動の模索、検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の相互確認</li> <li>・共同教室の調整</li> <li>・施設の共通ルール確認</li> <li>・合同職員研修実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通ルールに基づき、施設を共有できている</li> <li>・日常にかかわり、互いを認め合いながら共に学んでいる</li> </ul>	教務情報課

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成果及び課題
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の生活を見据えた9年間の学び（義務教育）を支える</li> <li>・地域住民とのつながりを持ち、地域資源を活用し、地域と共に共生社会へつなぐ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校には小規模校の良さである日常的な学部間のつながりがある。今後もこの強みを活かしていきたい。校外学習について9年間を見通して系統的に目標と目的地がわかる一覧表の作成が必要。</li> <li>・移動水族館は、経験の少ない児童生徒にとって、心に残る有意義な学習だった。</li> <li>・なんぶっことボッチャは地域の人に学校を知ってもらう良い機会。来年は実施したい。</li> </ul>
令和5年度	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域施設での作品展示</li> <li>・学校日より、行事案内を地域に配布</li> <li>・学校運営協議会で地域資源の開拓とつながり強化</li> <li>・体験的学習の推進と充実</li> <li>・日常的に隣接施設と情報共有</li> <li>・リハビリ見学実施</li> <li>・保護者との連携強化（面談や学部日より等で学習の目標や内容を保護者に説明）</li> <li>・保護者を巻き込んだ学校行事実施</li> <li>・スクーリングやリモート学習の充実（訪問教育）</li> </ul>

## 5 教職員について

### (1) 令和4年度異動状況

(単位：人)

区分	本務職員								臨時・会計年度任用職員					合計
	校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	主査	主任	小計	教諭(任)	主事(臨)	医療的ケア看護職員	非常勤労務職員	小計	
転出者		1	1	3				5					0	5
退職者				1				1		1		1	2	3
転入者			1	2				3					0	3
新任者		1						1		1	1		2	3
差引増減	0	0	0	△2	0	0	0	△2	0	0	1	△1	0	△2

### (2) 現員数

(令和5年6月30日現在) (単位：人)

区分	本務職員								臨時・会計年度任用職員					合計
	校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	主査	主任	小計	教諭(任)	主事(臨)	医療的ケア看護職員	非常勤労務職員	小計	
男	1			7		1	1	10	1			2	3	13
女		1	1	15	1			18	1	1	1	3	6	24
計	1	1	1	22	1	1	1	28	2	1	1	5	9	37

(3) 健康管理について

取組事項	具体的内容
○健康診断・健康相談の実施	・職員健診受診による再検査・精密検査の受診を促す ・必要に応じ、健康管理医による面接を実施
○職場の健康づくり	・普段から風通しの良い人間関係構築し、同僚の異変に早めに気づき、声を掛け合う職員集団づくり ・不調時に休養室を利用しやすいよう、常に整理整頓 ・毎朝、腰痛予防体操実施 ・校内相談体制の充実
○職員安全衛生委員会	・年間計画に基づき、現状に応じたテーマで取り組む ・年6回、健康管理医が出席し、指導助言を受ける ・職場巡視チェックリストに基づき、管理医による職場巡視 ・職員の安全と健康に関する情報共有
○交通安全対策	・毎週月曜日の一人一言メッセージの中で交通安全について話題にし、交通安全意識の強化 ・事例を通して、未然に防ぐ対策を共有 ・繰り返し交通安全について話題にする
○長時間労働への指導	・各々の生活スタイルに合わせたマイ定時退庁日を実施し、職員の主体的な働き方改革を推進 ・優先順位をつけ、計画的に仕事をする習慣をつける ・19時以降の業務は申請し、20時完全施錠 ・時間外勤務月45時間以内、年間360時間以内の周知

(4) 教職員の研修について

令和4年度	
内容・方法	成果(◇)・課題(◆)
<p>『児童生徒一人一人の自ら学ぶ姿を導き出すために～アセスメントツールを活用した実態把握からの授業実践～』</p> <p>&lt;目的&gt; アセスメントツールを活用した実態把握を行い、その結果を基に具体的な目標設定、適切な課題を設定する。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部研修を中心とした授業検討実施</li> <li>・年間を通じたアセスメントツールの活用と共通理解の上での目標設定</li> <li>・窓口教科を算数・数学とし、全教員が縦横のつながりを意識できる校内研修</li> </ul>	<p>◇Sスケールを活用したことで、共通のものさしを使いながら複数教員で実態把握することの大切さが理解できた。</p> <p>◇実態把握を基に、適切な目標設定をしたり、授業後にその妥当性を検証したりし、根拠ある授業づくりに向かうことができた。</p> <p>◇知的教科の算数・数学についての専門性を高めることができた。また、授業づくりの上で、生活年齢と発達年齢をすりあわせることや、遊びやごっこ、模擬体験を採り入れること、自分で気付くための仕掛けが必要なことなどがわかった。</p> <p>◆Sスケールの活用には、まだ難しさを感じる教員が多く、理解を深める必要がある。</p> <p>◆単元カードが活用されにくい部分がある。</p> <p>◆事例児以外の児童生徒の実態把握がまだ不十分であり、障害がより重度な子や在宅訪問児童生徒の指導についてまだまだ研修が必要である。</p>

令和5年度	
<p>『児童生徒一人一人の自ら学ぶ姿を導き出すために～将来像を描き、アセスメントツールを活用した実態把握からの算数・数学科授業づくり～』</p> <p>&lt;目的&gt; 「何ができるようになるか」(将来像)をイメージしながら、アセスメントツールを活用した実態把握に基づいた適切な算数・数学科の目標設定と授業実践</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校到達度チェックリスト(Sスケール)の理解を深め、活用する。</li> <li>・事例児別に3つの研修チームに分かれて授業研究を進める。</li> <li>・定期訪問、はごろも夢講演会、学校コンサルテーション、校内授業研究会を通じて得た指導助言や成果を授業実践に活かしていく。</li> <li>・単元カードの書式の改善や活用を推進する。</li> <li>・少人数でのディスカッションを多く取り入れ、自分事として取り組む雰囲気を大切にする。</li> </ul>	

## 6 防災対策について

- ア 「お、は、し、も」の災害時の避難標語を、児童生徒に徹底する。
- イ 学校防災計画に基づき、教職員の危機管理意識を向上する。
- ウ 隣接する施設や保護者との連携を図り、実践的な防災訓練を行う。
- エ 自分の身は自分で守ることを基本に、児童生徒への防災・減災の意識付けを行う。
- オ 防災対策の見直しをし、学校の実情に即した持続可能な対策を強化する。

### 【令和4年度】

日時	訓練内容
第1回 6月15日(水)	センターとの合同地震避難訓練・引き渡し訓練
第2回 9月1日(木)	センターとの総合避難訓練
第3回 12月16日(金)	予告なし火災避難訓練

### 【令和5年度】

日時	訓練内容
第1回 5月30日(火)	センターとの合同地震避難訓練・引き渡し訓練
第2回 8月7日(月)	南部特支 防災研修(避難滑り台、防災倉庫物品確認など)
第3回 9月1日(金)	センターとの総合避難訓練
第4回 11月(未定)	視覚合同予告なし避難訓練
第5回 1月(未定)	視覚合同避難訓練

## 7 学校開放について

施設開放委員会を設置し、施設開放に対応している。

### 【令和4年度】

施設名	利用目的	利用日数	利用者数
体育館	センター利用者活動	1日間	24人

### 【令和5年度】

開放実績なし

(令和5年6月30日現在)

## 事務執行の根拠法令調

項目	根拠法令
学校教育に関するもの	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、第77条、第80条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学指導委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 教育職員の免許状に関する規則
学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第1条～第4条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護及び準要保護児童生徒奨励費補助金交付要綱 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 いじめ防止対策推進法

# 学校施設の概要

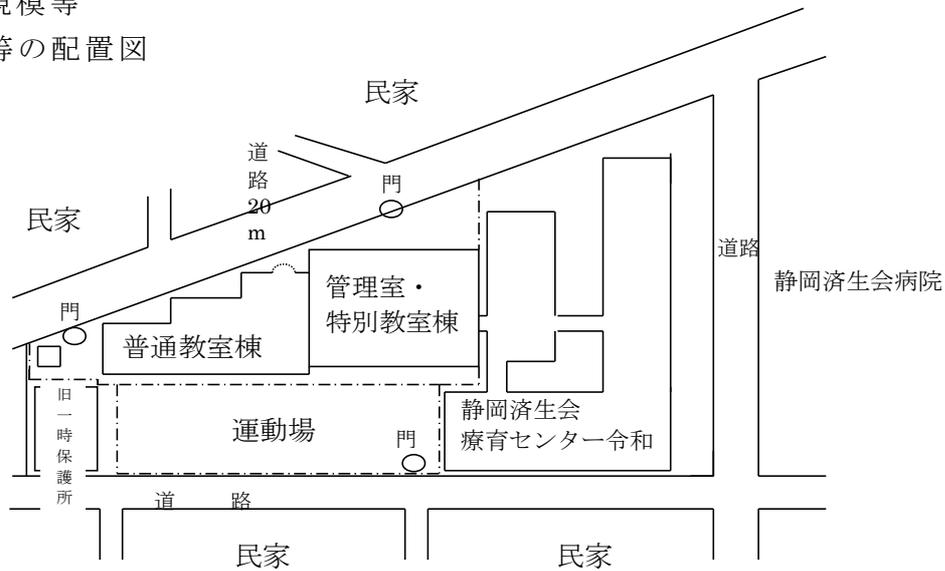
## 1 面積及び所有区分

(令和5年6月30日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学校敷地	4,036.49	4,036.49					
内 訳	校舎敷地	2,568.82	2,568.82				
	運動場敷地	1,467.67	1,467.67				
校 舎	建 1,707.36	1,707.36				含体育館 601.30m <sup>2</sup>	
	延 4,150.48	4,150.48					
その他の建物	建 21.00	21.00					
	延 21.00	21.00					
プ ール	80.5	80.5				7×11.5m	

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図



### (2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	4,036.49 m <sup>2</sup>	4,150.48 m <sup>2</sup>	1,467.67 m <sup>2</sup>
県 平 均	18,814.78 m <sup>2</sup>	6,914.52 m <sup>2</sup>	5,244.39 m <sup>2</sup>

# 在籍生徒調

(令和5年6月30日現在)

学年	課程	小学部									中学部								
		本校			訪問			合計			本校			訪問			合計		
	区分	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
1年	入学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	4	2	3	5
	増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
現在	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	4	2	3	5	
2年	入学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5			0	4	1	5
	増加	1		1			0	1	0	1			0			0	0	0	0
	減少	1		1			0	1	0	1			0			0	0	0	0
	2年時当初	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5	0	0	0	4	1	5
	増加	0		0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	減少	0		0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
現在	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5	0	0	0	4	1	5	
3年	入学者	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	2	1	2	3	5
	増加			0			0	0	0	0	1		1			0	1	0	1
	減少			0			0	0	0	0	1	1	2			0	1	1	2
	2年時当初	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	2	1	1	2
	増加	2		2			0	2	0	2			0			0	0	0	0
	減少	2		2			0	2	0	2			0			0	0	0	0
3年時当初	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	2	1	1	2	
増加			0		1	1	0	1	1			0			0	0	0	0	
減少			0		0	0	0	0	0			0			0	0	0	0	
現在	1	0	1	0	1	1	1	1	2	0	0	0	1	1	2	1	1	2	
4年	入学者	1	0	1	1	0	1	2	0	2									
	増加		1	1	1		1	1	1	2									
	減少		1	1	1		1	1	1	2									
	2年時当初	1	0	1	1	0	1	2	0	2									
	増加		1	1			0	0	1	1									
	減少		1	1	1		1	1	1	2									
	3年時当初	1	0	1	0	0	0	1	0	1									
	増加	1	1	2			0	1	1	2									
	減少	1	1	2			0	1	1	2									
	4年時当初	1	0	1	0	0	0	1	0	1									
	増加		0	0			0	0	0	0									
	減少		0	0			0	0	0	0									
現在	1	0	1	0	0	0	1	0	1										
5年	入学者	0	0	0	1	1	2	1	1	2									
	増加		1	1			0	0	1	1									
	減少		1	1			0	0	1	1									
	2年時当初	0	0	0	1	1	2	1	1	2									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0		1	1	0	1	1									
	3年時当初	0	0	0	1	0	1	1	0	1									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	4年時当初	0	0	0	1	0	1	1	0	1									
	増加		1	1			0	0	1	1									
	減少		1	1			0	0	1	1									
5年時当初	0	0	0	1	0	1	1	0	1										
増加			0			0	0	0	0										
減少			0			0	0	0	0										
現在	0	0	0	1	0	1	1	0	1										
6年	入学者	0	0	0	1		1	1	0	1									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	2年時当初	0	0	0	1	0	1	1	0	1									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	3年時当初	0	0	0	1	0	1	1	0	1									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0	1		1	1	0	1									
	4年時当初	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	増加		1	1			1	1	0	2	2								
	減少		1	1			0	0	1	1									
5年時当初	0	0	0	0	1	1	0	1	1										
増加			0			0	0	0	0										
減少			0			0	0	0	0										
6年時当初	0	0	0	0	1	1	0	1	1										
増加			0		0	0	0	0	0										
減少			0			0	0	0	0										
現在	0	0	0	0	1	1	0	1	1										
合計		2	0	2	1	2	3	3	2	5	4	2	6	3	3	6	7	5	12

## 卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制				
	定時制				
	通信制				
特別支援学校高等部		3			3
その他高等学校等					
大学等	大学(学部)				
	短期大学(本科)				
	大学・短大の通信教育学部等				
	その他大学等				
特別支援学校高等部専攻科					
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職					
上 記 以 外 ※					
不 詳 ・ 死 亡					
計 (卒業者総数)		3			3

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
児童福祉施設					
障害者支援施設					
(うち就労系支援事業利用者)		()	()	()	()
医療機関					
計					

## 生徒の状況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和5年6月30日現在) (単位:人)

市町名	静岡市	□□市	□□市	合計
生徒数	14	1	2	17
構成比%	82.0	6.0	12.0	100%

(2) 通学方法 (令和5年6月30日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自家用車	合計
生徒数	6	2	8
構成比%	75.0	25.0	100%

\*訪問教育は除く

(3) 訪問教育の状況 (令和5年6月30日現在) (単位:人)

訪問教員等		市町	静岡市	計
小・中学部	教諭	5	小学部	3
	講師		中学部	6
高等部	教諭		高等部	
	講師			
計		5	計	9

### 2 部(クラブ)の加入状況

< 中学部 > (令和5年6月30日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数					
男子	1年				
	2年				
	3年				
	計(A)				
	構成比				
女子	1年				
	2年				
	3年				
	計(B)				
	構成比				
合計	(A+B)				
	構成比				

3 障害別児童生徒数 (令和5年6月30日現在) (単位:人)

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数
小学部	単一障害	<input type="checkbox"/>							
	重複障害	<input type="checkbox"/>							
	肢体重複	<input type="checkbox"/>							
	合計	0	0	1	1	0	0	2	1
中学部	単一障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	/	/	/	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	重複障害	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	/	/	/	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	肢体重複	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	/	/	/	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	合計	1	5	0	/	/	/	6	3
訪問	小学部	<input type="checkbox"/>							
	中学部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	/	/	/	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	合計	4	0	3	0	1	1	9	3

4 起因疾患別児童生徒数

(令和5年6月30日現在) (単位:人)

区分	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	計
小学部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2
中学部	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6
訪問	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9
計	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17

## 預 金 調

(令和5年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘要
清水銀行 東静岡支店	無利息型 普通預金	□□□□□□	静岡県立静岡南部特別支援学校 資金前渡者 高田宗享	0	給与及び資金前渡金 の受領
静岡銀行 池田支店	無利息型 普通預金	□□□□□□	(自振口) 静岡県立静岡南部特別 支援学校資金前渡者 高田宗享	0	公共料金等の自動振 替
静岡銀行 池田支店	無利息型 普通預金	□□□□□□	静岡県立静岡南部特別支援学校 奨励費代理受領者 高田宗享	0	就学奨励費の代理受 領
残 高 合 計				0	

## 郵 券 等 受 払 調

(令和5年6月30日現在)

(単位:枚、円)

区分	種類	令和4年度						令和5年度						摘要			
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額	
郵便	2円券	3	6	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	公文書 発送
	10円券	1	10	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	82円券	1	82	0	0	1	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	50	4,200	0	0	7	588	43	3,612	0	0	0	0	43	3,612		
計			4,298		0		686		3,612		0		0		3,612		
タクシー チケット	静岡市 タクシー 事業協同 組合	9		30		3		36		0		0		36		校外行事 の実施	
計		9		30		3		36		0		0		36			
iTunes Card	1,500円分	0	260	0	0	0	0	0	260	0	0	0	0	0	260	アプリ ダウン ロード	
	3,000円分	0	520	0	0	0	0	0	520	0	0	0	0	520			
	10,000円分	0	160	0	0	0	0	0	160	0	0	0	0	160			
計		0	940	0	0	0	0	0	940	0	0	0	0	940			

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和4年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和3年度	令和4年度	左のうち、3年度からの繰越額分
(12) 委託料	01 一般会計	11 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費		27,500	
	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		1,585,864	
計					2,217,264	1,613,364	0
(14) 工事費	01 一般会計	11 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費		748,000	
計					0	748,000	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		1,772,000	
計					298,100	1,772,000	0
(18) 負担金、補助及び交付金	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援学校費	02 特別支援学校管理費		26,500	
計					49,550	26,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年度)  
(令和5年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						左のうち、4年度からの繰越額分
(12) 委託料	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	209,000	0
計					209,000	0
(14) 工事 請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品 購入費	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	12,000	0
計					12,000	0
(21) 補償、補填 及び 賠償金					0	0
計					0	0

## 委託料に関する調

(令和4年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額 円	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額 円	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	自家用電気工作物保安管理業務	菊池電気保安管理事務所	67,393	67,393		67,393	随契	R4.4.1 ～ R5.3.31	R4.10.17 R5.4.17  小計	31,482 35,911  67,393	電気工作物点検 月1回点検	随契1号(少額)
2	消防用設備等保守点検業務	鈴与技研(株)	16,971	16,971		16,971	随契	R4.4.1 ～ R5.3.31	R4.9.12 R5.4.14  小計	7,857 9,114  16,971	消防用設備等保守点検 年2回点検	随契1号(少額)
3	エレベーター保守点検業務	日本オーチス・エレベーター(株)静岡岡支店	1,141,800	1,141,800		1,141,800	随契	R4.4.1 ～ R5.3.31	R4.5.25 R4.6.21 R4.7.19 R4.8.19 R4.9.16 R4.10.19 R4.11.21 R4.12.19 R5.1.24 R5.2.20 R5.3.20 R5.4.24 小計	95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 95,150 1,141,800	定期点検 月1回点検 定期検査 年1回点検	随契2号(不適)
4	産業廃棄物収集運搬・処分業務	(株)総合美装ワタナベ	119,900	119,900		119,900	随契	R4.5.24 ～ R4.7.29	R4.7.13	119,900	産業廃棄物収集・運搬及び処分	随契1号(少額)
5	産業廃棄物収集運搬・処分業務	(株)総合美装ワタナベ	119,900	119,900		119,900	随契	R4.11.7 ～ R5.1.31	R4.12.19	119,900	産業廃棄物収集・運搬及び処分	随契1号(少額)
6	産業廃棄物収集運搬・処分業務	(株)総合美装ワタナベ	119,900	119,900		119,900	随契	R5.1.16 ～ R5.3.17	R5.2.16	119,900	産業廃棄物収集・運搬及び処分	随契1号(少額)
7	産業廃棄物収集運搬・処分業務	(株)総合美装ワタナベ	27,500	27,500		27,500	随契	R5.2.3 ～ R5.3.24	R5.3.30	27,500	産業廃棄物収集・運搬及び処分	随契1号(少額)
	事務関係計	7件								1,613,364		

### 参考

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	中央特別支援学校外4校消防用設備等保守点検業務	旭産業(株)		5,302,000		5,302,000		R4.4.1 ～ R5.3.31			機器点検 年1回 機器点検・総合点検 年1回 防火設備点検 年1回	中央特別支援学校
2	静岡西高校外13校プール浄化装置保守点検業務	大学産業(株)		746,900		746,900		R4.4.18 ～ R4.11.18			始業点検 1回 終了点検 1回 随時	静岡西高校
3	静岡農業高校外13校可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡清掃企業		運搬 @13,530円/回 処分 @11.0円/kg		運搬 @13,530円/回 処分 @11.0円/kg		R4.4.1 ～ R5.3.31			毎週月・水・金 年間 137回	静岡農業高校
4	駿河総合高校外13校警備業務	エスピトーム(株)		11,088,000		11,088,000		R1.10.1 ～ R6.9.30			警報機器による機械警備	駿河総合高校
	計	4件										

## 委託料に関する調

(令和5年度)  
(令和5年6月30日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	自家用電気工作物保安管理業務	菊池電気保安管理事務所	74,432	74,432		74,432	随契	R5.4.1 ～ R6.3.31		円	電気工作物点検月1回点検	随契1号(少額)
									小計	0		
2	消防用設備等保守点検業務	鈴与技研(株)	16,971	16,971		16,971	随契	R5.4.1 ～ R6.3.31		円	消防設備等保守点検年2回点検	随契1号(少額)
									小計	0		
3	エレベーター保守点検業務委託	日本オーチス・エレベータ(株)静岡支店	1,254,000	1,254,000		1,254,000	随契	R5.4.1 ～ R6.3.31	R5.5.25 R5.6.21	104,500 104,500	定期点検月1回点検 定期検査年1回点検	随契2号(不適)
									小計	209,000		
	事務関係計	3件								209,000		

### 参考

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	中央特別支援学校外4校消防用設備等保守点検業務	旭産業(株)		4,070,000		4,070,000	随契	R5.4.1 ～ R6.3.31			機器点検 年1回 機器点検・総合点検 年1回 防火設備点検 年1回	中央特別支援学校
2	静岡西高校外11校プール浄化装置保守点検業務	三笠産業(株)		743,600		743,600	随契	R5.4.17 ～ R5.11.17			始業点検 1回 終了点検 1回 随時	静岡西高校
3	静岡農業高校外13校可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡清掃企業		運搬 @14,300円/回 処分 @11.0円/kg		運搬 @14,300円/回 処分 @11.0円/kg	随契	R5.4.1 ～ R6.3.31			毎週月・水・金 年間 134回	静岡農業高校
4	駿河総合高校外13校警備業務	エスピトゥム(株)		11,088,000		11,088,000	随契	R1.10.1 ～ R6.9.30			警報機器による機械警備	駿河総合高校
	計	5件										

## 負担金支出調

(令和4年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	第65回全国特別支援学校肢体不自由教育教頭研究協議会静岡大会参加費	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭会	開催要項による	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭研究協議会	円 3,000	R4. 6. 16
2	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭会会費	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭会	会則による	肢体不自由教育の研究	4,500	R4. 6. 16
3	中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長会会費	中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長会	会則による	肢体不自由教育の研究	4,000	R4. 6. 29
4	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会会費	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会	会則による	肢体不自由教育の研究	15,000	R4. 7. 25
	計	4件	/	/	26,500	/

## 負担金支出調

(令和5年度)  
(令和5年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	中部地区特別支援学校 肢体不自由教育校長会 会費	中部地区特別支援学 校肢体不自由教育校 長会	会則によ るによる	肢体不自由教育の 研究	円 4,000	R5.6.9
2	全国特別支援学校肢体 不自由教育教頭会会費	全国特別支援学校肢 体不自由教育教頭会	会則によ る	肢体不自由教育の 研究	4,500	R5.6.23
3	第66回全国特別支援学 校肢体不自由教育教頭 研究協議会静岡大会参 加費	全国特別支援学校肢 体不自由教育教頭会	開催要項 による	全国特別支援学校 肢体不自由教育教 頭研究協議会	3,500	R5.6.23
	計	3件	/	/	12,000	/

# 建 築 工 事 調

(令和4年度)

整理番号	予算科目	工事名	工事個所	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
					当 初 額	変更増減額	計							
1	教育管理費	令和4年度 静岡南部特別 支援学校 旧自立活動室 空調機更新工 事	静岡市 駿河区 曲金地内	825,000円	748,000円	0円	748,000円	随契	サンセイ 冷熱(株)	R4. 12. 12 R5. 2. 10	748,000円	空調機1台 更新	済	令達年月日 R4. 9. 16 R4. 11. 28 支払年月日 R5. 3. 10 随契1号(少額)
		合 計	1 件	825,000円	748,000円	0円	748,000円				748,000円			

整理番号	予算科目	工事名	工事個所	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
					当 初 額	変更増減額	計							
参考 1	教育管理費	令和4年度 静岡南部特別 支援学校 体育館空調設備 設置工事	静岡市 駿河区 曲金地内	18,766,000円	17,545,000円	3,113,000円	20,658,000円	制 限 付 一 般 競 争 入 札	サンセイ 冷熱(株)	R4. 5. 31 R4. 10. 14	20,658,000円	空調機3台 設置	済	本庁経理分 教育施設課 令達年月日 R4. 5. 15 支払年月日 R4. 11. 14

# 建 築 工 事 調

(令和5年度)  
(令和5年6月30日現在)

整理 番号	予算科目	工事名	工事個所	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
					当 初 額	変更増減額	計							
参考 1	県立学校等 施設整備 事業費	令和4年度 静岡南部特別 支援学校 管理特別教室 棟改修他工事 (建築)	静岡市 駿河区 曲金地内	57,772,000円	56,100,000円	341,000円	56,441,000円	指名	(株)平井組	R4.12.22 R5. 8. 4	8,070,000円	静岡視覚特 別支援学校 仮移転に伴 う内装改修	—	本庁経理分 建築工事課  支払年月日 R5.1.16 (前払)
参考 2	県立学校等 施設整備 事業費	令和4年度 静岡南部特別 支援学校 管理特別教室 棟改修他工事 (電気設備)	静岡市 駿河区 曲金地内	25,355,000円	24,200,000円	0円	24,200,000円	一般	児玉電機 工業(株)	R4.11.18 R5. 8. 4	4,470,000円	静岡視覚特 別支援学校 仮移転に伴 う内装改修	—	本庁経理分 設備課  支払年月日 R4.12.9 (前払)
参考 3	県立学校等 施設整備 事業費	令和4年度 静岡南部特別 支援学校 管理特別教室 棟改修他工事 (機械設備)	静岡市 駿河区 曲金地内	19,492,000円	18,324,900円	0円	18,324,900円	一般	(株)ハロー G	R4.11.18 R5. 8. 4	4,590,000円	静岡視覚特 別支援学校 仮移転に伴 う内装改修	—	本庁経理分 設備課  支払年月日 R4.11.2 (前払)

## 公有財産調

(令和4年度)

区 分	令和4年3月31日現在		増		減		令和5年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 829,234	/	千円 21,381	/	千円 21,820	/	千円 828,795	
土 地	m <sup>2</sup> 4,036.49	599,707	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 4,036.49	599,707	
立木竹	本 19	1,070	本		本		本 19	1,070	
建 物	m <sup>2</sup> <u>1,728.36</u> 4,171.48	221,052	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	21,144	m <sup>2</sup> <u>1,728.36</u> 4,171.48	199,908	
工作物	個 59	7,405	個 4	21,381	個 9	676	個 54	28,110	
公有財産に準ずるもの	/	157	/		/		/	157	
電話加入権	件 3	157	件		件		件 3	157	

「令和5年度中増減なし」

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校 敷地	静岡市 駿河区 曲金 5-3-30	宅地	学校 敷地	条 支線 1	円 1,500	円 1,500	R3. 4. 1 ～ R8. 3. 31	中部電力 パワーグリッド(株) 静岡営業所長	電柱 支線
2	土地	学校 敷地	静岡市 駿河区 曲金 5-3-30	宅地	学校 敷地	m <sup>2</sup> 0.10		免除	R5. 4. 1 ～ R6. 3. 31	曲金4丁目 地区テレビ 共聴組合長	共聴用 設備 (電柱)
3	建物	事務 所建	静岡市 駿河区 曲金 5-3-30	RC造 3階建	RC造 3階建	m <sup>2</sup> 0.01		免除	R2. 4. 1 ～ R7. 3. 31	静岡市長	防災設備 (戸別受 信機)
合 計								1,500			

## 主 要 備 品 調

(令和5年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	ICT環境整備機器一式	毎日(年間220日) 情報処理、学習指導に使用	H30.3	円 1,491,696
2	1-4	移動書庫	移動書庫 プラスリンクス	毎日(年間365日)事務用 に使用	H6.3	877,580
3	10-6	教育調理器具	教育調理器具 昇降式調理台 LS-D21M	週2日(年間80日) 家庭科授業用に使用	H27.12	874,800
4	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハA1R	毎日(年間220日) 授業に使用	H7.3	840,000
5	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 6馬力シングル	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H22.3	787,500
6	2-2	放送装置	放送装置 ナショナルWL-SA111	毎日(年間200日) 校内連絡、放送用に使用	H15.2	753,900
7	1-2	台	調理台 上下可動式、天板ステン レス製	週2日(年間80日) 家庭科授業用に使用	S63.3	677,000
8	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 天吊型	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H24.3	607,950
9	2-1	その他の情報処理 機器	校内LANサーバー等一 式	毎日(年間365日) 情報処理、学習指導用	H29.3	529,308
10	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー PCZ-ZRMP45KLK	夏季、冬季(年間90日) 来客・会議に使用	H28.7	475,200
11	2-2	その他の情報伝達 機器	ワイヤレス装置(一式) パナソニックWX-4040 外	週1回(年間50日) 行事、授業放送に使用	H8.2	467,900
12	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー PKZ-ERP80K	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H27.7	464,400
13	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー PK-P80KK	夏季(年間50日) 生徒の体温調整に使用	H19.7	456,750
14	1-1	テーブル	会議用、来客用テーブ ル プラスWF-360	毎日(年間220日) 来客、会議に使用	H7.2	453,200
15	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80FD	夏季(年間50日) 生徒の体温調整に使用	H18.6	449,925
16	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KK	夏季(年間50日) 生徒の体温調整に使用	H20.6	441,000
17	1-7	裁断機	電動裁断機 ライオンN0703	毎日(年間200日) 書類裁断用	H6.3	437,868
18	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KM	夏季(年間50日) 生徒の体温調整に使用	H21.3	429,450
19	2-1	パーソナルコンピ ューター(一式)	タブレット端末一式	毎日(年間220日) 情報処理、学習指導に使用	H31.3	420,984
20	1-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KLK	夏季(年間50日) 生徒の体温調整に使用	H20.3	420,000

## 職 員 調

(令和5年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	高田 宗享		□□□	年 月 □.□	□□□
2	教頭	齋藤 夕紀		□□□	□.□	□□□
3	事務長	中川 美幸		□□□	□.□	□□□
4	教諭	佐藤 美保子	中学部	□□□	□.□	□□□
5	教諭	山田 智美	訪問主任	□□□	□.□	□□□
6	教諭	川邊 直美	訪問	□□□	□.□	□□□
7	教諭	杉山 浩	中学部	□□□	□.□	□□□
8	教諭	安部 さおり	中学部	□□□	□.□	□□□
9	教諭	羽生 裕子	部主事 小学部	□□□	□.□	□□□
10	教諭	土屋 潤一郎	中学部	□□□	□.□	□□□
11	教諭	稲木 徹	部主事 中学部	□□□	□.□	□□□
12	教諭	田嶋 友紀	訪問	□□□	□.□	□□□
13	教諭	前田 ゆみ	小学部	□□□	□.□	□□□
14	教諭	峯山 博明	中学部	□□□	□.□	□□□
15	教諭	田子 摩耶子	中学部	□□□	□.□	□□□
16	教諭	長澤 望		□□□	□.□	□□□
17	教諭	小澤 彰子	中学部	□□□	□.□	□□□
18	教諭	加茂 真澄	中学部	□□□	□.□	□□□
19	教諭	高柳 俊明	小学部	□□□	□.□	□□□
20	教諭	松浦 彩乃		□□□	□.□	□□□
21	教諭	森 拓未	中学部	□□□	□.□	□□□
22	教諭	千葉 明穂	中学部	□□□	□.□	□□□
23	教諭	青嶋 航	小学部	□□□	□.□	□□□
24	教諭	木暮 華子	中学部	□□□	□.□	□□□
25	教諭	杉村 南美	訪問	□□□	□.□	□□□
26	養護教諭	伊丹 佳奈		□□□	□.□	□□□
27	主査	杉浦 正佳	管財、会計	□□□	□.□	□□□
28	主任	小林 裕幸	庶務、会計	□□□	□.□	□□□
平均年数					2年5月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(任)	稲葉 隆子	訪問	□□□	□.□ □□□	
2	教諭(任)	青柳 匠	中学部	□□□	□.□ □□□	
3	主事(臨)	森 成美	給与 奨励費	□□□	□.□ □□□	
4	会計年度任用職員	田中 優花	医療的ケア	□□□	□.□ □□□	
5	会計年度任用職員	杉本 有加	介助	□□□	□.□	
6	会計年度任用職員	川島 克己	校内整備	□□□	□.□	
7	会計年度任用職員	小林 和人	校内整備	□□□	□.□	
8	会計年度任用職員	郷野 利子	消毒	□□□	□.□	
9	会計年度任用職員	松浦 朝子	消毒	□□□	□.□	
10	学校医	早川 幸代	内科	□□□	□.□	
11	学校医	大岩 和博	眼科	□□□	□.□	
12	学校医	武林 悟	耳鼻科	□□□	□.□	
13	学校医	廣岡 敦子	整形外科	□□□	□.□	
14	学校医	藤塚 秀樹	歯科	□□□	□.□	
15	学校薬剤師	杉浦 嘉彦		□□□	□.□	
16	健康管理医	山倉 慎二		□□□	□.□	

## 職員の年齢調

(令和5年6月30日現在)

年齢	人員	摘要
20歳未満	0	
20歳以上30歳未満	5	
30歳以上40歳未満	4	
40歳以上50歳未満	13	
50歳以上56歳未満	3	
56歳以上61歳未満	3	
61歳以上	0	
計	28	平均年齢 43.1歳

# 健康管理

## 1 令和4年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 30人
	職員数 30人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

## 2 令和5年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B2		要経過観察	0人
C1	勤務をほぼ平常に行っても症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C2		要経過観察	0人
D1	平常の勤務でよい。	要 治 療	3(3)人
D2		要経過観察	4(4)人
D3		医 療 不 要	21(21)人
区 分 者 計			28(28)人
未区分者数			(0)人
合 計			28(28)人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人  
 イ 新規採用 人  
 ウ 自己都合による未受診 人  
 エ その他 人  
 ( )